

常磐毎日

発行所 平野町七五番地
電話 1,210
1,269
編集 佐川呉服店

御婚礼

京 呉服
ふとん
豊取揃
佐川呉服店
平市五丁目 電話1486

予断ゆるとの激戦續く 本命は磯野、追う矢吹

「予断ゆるとの」四派が候補した常磐市長選挙は、折からの雨の中にもつたつた激しい選挙戦を展開している。序盤戦は矢吹と予断ゆるとのの対決であるが、何となくも予断ゆるとのが優勢である。矢吹は、市労働者社会党と新団体の支持を一身に集めて最も有利な戦いを進めている。磯野は、これを保守派の矢吹、松本、そして革新系と

關ヶ原は炭礦地帯

微妙な雲行もある

同市有権者の半数を占める炭礦地帯。今次選挙の勝敗を左右する関ヶ原といわねど、組織力は意外に固いといわれる。候補の進出も思わぬにまかせない形勢。本報「労働市長」の誕生には強くないが、磯野氏に当選の確率が高くなった。磯野氏の内閣村地帯では終盤戦に入つてから保守派のうごめきで、予断ゆるとのに有利な形勢に近づいている。予断ゆるとのの候補者への集票活動も活発で、約五十点、金額にして約二十万円の見込み。

久太夫橋近く完成

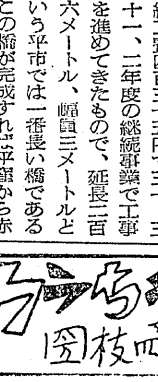
大雨の降つて以来、流失の危険が叫ばれてきた平野市平野河川地帯。井川に架設された久太夫橋の架設工事は加地組の手で建設中だが、今月末には完成を期して、五月上旬に渡りもめきを見せようとしている。

滞納整理品の公売

滞納整理に乗り出した石炭財務事務所。滞納品は約二十万点、一回の公売を行うには、税関、海防、食料、自動車、法衣、税金、公債品目、は追加加納、助産、家具、金具、約五十点、金額にして約二十万点の見込み。

文化都市の恥じ

平野市の河川は、汚濁がひどく、汚物を捨てたままの場所が多い。市衛生課で始末をしようとする。これは、特別清掃地区に指定されても、市民の意識がなっていない。また、河川の水質も汚れて、おびんを洗つては市民に警告を発すると、市民は「汚物、不心得者は厳罰に



あすから証人調べ

平野市選挙区は、八、九の三日間、高橋田検事長と平野市出張福島地裁支部長とが行われるが、同公判の証人は事件当分の内務部長(現白河署長)堀谷重蔵氏はじめ、内務部長の警察官四名が予定されている。

前夜祭は各地区毎実施

常磐市長選挙を控え、平野市では、前夜祭の準備が急がれている。前夜祭は、市労働者社会党と新団体の支持を一身に集めて最も有利な戦いを進めている。磯野は、これを保守派の矢吹、松本、そして革新系と

中野洋品店 大火見舞

治十日間の製菓を受けた。中野洋品店は、治十日間の製菓を受けた。中野洋品店は、治十日間の製菓を受けた。

危うく衝突

平野市と平野市。平野市と平野市。平野市と平野市。平野市と平野市。

60俵押収

平野市と平野市。平野市と平野市。平野市と平野市。平野市と平野市。

宮町大火の見舞品

宮町大火の見舞品。宮町大火の見舞品。宮町大火の見舞品。宮町大火の見舞品。

急募男子店員

急募男子店員。急募男子店員。急募男子店員。急募男子店員。

電話増設お知らせ

電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。

企業合理化と労務管理

企業合理化と労務管理。企業合理化と労務管理。企業合理化と労務管理。企業合理化と労務管理。

労働交渉進む

労働交渉進む。労働交渉進む。労働交渉進む。労働交渉進む。

新役員

新役員。新役員。新役員。新役員。

鉄北青年会

鉄北青年会。鉄北青年会。鉄北青年会。鉄北青年会。

急募男子店員

急募男子店員。急募男子店員。急募男子店員。急募男子店員。

洋服の店 鈴木勲氏商店

洋服の店 鈴木勲氏商店。洋服の店 鈴木勲氏商店。洋服の店 鈴木勲氏商店。洋服の店 鈴木勲氏商店。

きそばと寿司 宴会場の酒喜庵

きそばと寿司 宴会場の酒喜庵。きそばと寿司 宴会場の酒喜庵。きそばと寿司 宴会場の酒喜庵。きそばと寿司 宴会場の酒喜庵。

電話増設お知らせ

電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。電話増設お知らせ。

看護婦家政婦

看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。

厚生医療指定病院

厚生医療指定病院。厚生医療指定病院。厚生医療指定病院。厚生医療指定病院。

平指定商連盟会

平指定商連盟会。平指定商連盟会。平指定商連盟会。平指定商連盟会。

盛況御礼

盛況御礼。盛況御礼。盛況御礼。盛況御礼。

富士食堂

富士食堂。富士食堂。富士食堂。富士食堂。

看護婦家政婦

看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。

看護婦家政婦

看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。看護婦家政婦。

笛の詩

54

絵と文 谷田部風太郎

たそがれの章

6

「今日は、家でやすんだらど」

「はあ、利子が宿を探して出なけましたから……」

「はう、先刻から見えなかつたが、ではそれを出て行かれたのだな」

「はあ、船機式を済ませるのに恰好な所を」

「成程、全く身は愉快でいらぬ」

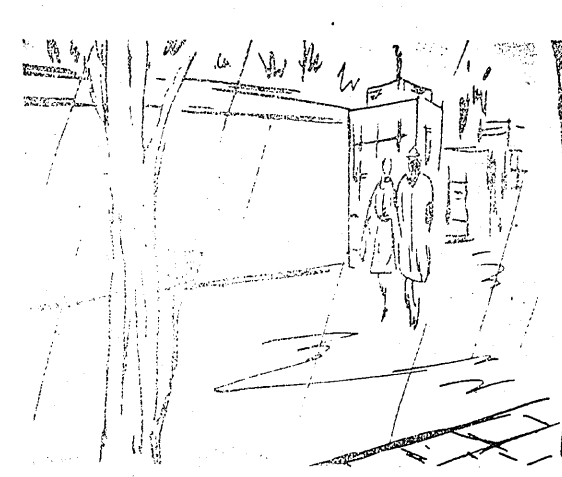
「考へる程愉快じゃありません昨日は網走でむりやり床屋へ行かされ、むりやり着なれた服かして、着物を捨ててしまひました」

「ははは、それで良いのです。君は少し身の廻りに無頓着過ぎたからな」

「はあ、しかし、さうせせられさうしては、一条件をせせりました」

「はう……」

「あやかり入りの化粧をするな」と



「……」
「……」
「……」

「……」
「……」
「……」

「……」
「……」
「……」

「……」
「……」
「……」

「……」
「……」
「……」

優良納組を表彰

磐城

磐城市では三十一年度優良納組組合と組合長の表彰式を三十日午後一時から第一小講堂で行ひ、表彰者は次の通り。

▽組合、組合長 後衛二組酒井嘉市 中島十一組小野左近 中島十三組中谷昭次 中通三組若松真彌 中島十四組田口健生 花畑二組鈴木正雄 本町六組村上豊 沙止四組藤尾伊太郎 須賀十九組青山藤雄 陶富岡一組斎藤市之助 市役所小林仁平 江名島合四組坂本真一 同十三組佐藤藤江 同十五組佐川一貞 同十六組山本信昭 同十一組吉田松吉 同十二組加賀竹雄 同十三組酒井洋之助 折戸五組吉田田郎 同七組吉土崇平 中之作十一組吉田吉十

大浦で忠魂碑の除幕式

四倉町大浦地区遊楽会(会長渡辺貴一氏)は同地区内の日露、日支大東亜戦没者(百六十三柱)の慰霊追悼式を二十五日午前十時から

小遣を節約して 講堂建設費に贈る

磐城市小名浜第一中学校(校長佐藤瑞穂氏)の三年生百四十名は去る十四、十五、十六日の三日間、江の島方面二百目の修学旅行を実施したが、その際の小遣を節約して集めた金を学校へ贈呈し、講堂建設の一助にしたいと、このほど寄贈するとともに早期実現方を要請した。

佐藤校長談「この生徒からの寄贈金は講堂建設の基礎となるものについて。」

小名浜第一 磐城市小名浜第二 二婦人会 婦人会では二十八日午後一時から三小講堂で小名高柳内校舎を招き時事演説観望と総会を開く。

▽三十二年事業反省会と会計報告会
▽三十二年会計審議と事業計画案について。

規模拡大認めず 流網、底引漁の許可方針

北洋サケ、マス流網漁業の行詰りから中型船による流網、カツオマグロを対象とした流網、底引きの操業に切替しようとするものが多く、県ではその調整に悩んで来たが、このほど次のような方針を決めた。それによると新しく操業規模を拡大しようとするものは原則として認めず、十トン以上の漁船に対しては流網に限り今年度内だけ試験操業を認める。このほか決まったこととして流網漁業、小型底引き漁業の許可方針は次のとおり。

(流網)一、沿岸漁業の秩序を守るための十トン未満の漁船は当分の間は認めず、とりとせ、十トン以上の漁船は漁獲物を限り今年度内限り試験操業を認める。二、試験操業は流網の許可方針は次のとおり。

一、流網(一) 沿岸漁業の秩序を守るための十トン未満の漁船は当分の間は認めず、とりとせ、十トン以上の漁船は漁獲物を限り今年度内限り試験操業を認める。二、試験操業は流網の許可方針は次のとおり。

米穀保管に石倉 小名農協で建設決る

磐城市小名浜農協協同組合(組合長長草野新平氏)では二十四日午後二時から会議で役員会を開き、米穀保管倉庫七十五坪の建設を決め、委員長長草野計四郎副委員長吉田敏春、外委員六名を選んだ。これは従来米穀一番地である四十坪の倉庫は二十一年頃製鐵工場であったものを買取、一時米穀保管倉庫として使用していたものであるが年々改修費が増加するのと、同協小名浜種播指定されたから外国船の出入も多く長期キキ。

試めし秤でおためし下さい

表口と裏口の両方に秤をお取上げの品をはかり直して頂くことになりました。万一量が不足の際はお買上げの品に何程か注意下さいませ。

〇切り切身 二五円
〇魚の粕漬 二八円
〇煮切肉 百斤 六〇円
〇煮切肉 百斤 六〇円
土曜サビキ小文字百斤四六円

越 藤越 小名浜 平市

今晩のラジオ

◆NHK(第一)
六時 子供の時間
六時三十分 スポリッポ
六時五十分 二丁目一番地

今晩の映画

平文化三三三 三十日
ニエス 三十日
アマンダ 三十日
はぎの半 三十日
任侠清水 三十日
任侠清水 三十日
任侠清水 三十日
任侠清水 三十日
任侠清水 三十日
任侠清水 三十日

落成設置尖端磯孤港倉四初

四倉機船底引網秋刀魚 棒受網漁業協同組合 組合長理事 鈴木常松

四倉漁業協同組合 組合長理事 長谷川長太郎

山下製作所 代表者 山下房松 四倉町新町 三三五二一六八

四倉町議会 議長 新妻常吉 副議長 鈴木一明 外 磯 風 一 岡

小名浜港務所四倉出張所 所長 福島県技師 竹内英次郎

福島県漁業協同連合会 会長理事 鈴木常松